

# デマンド・タクシーの導入検討について

令和4年（2022年）3月



# 目 次

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 第1章 デマンド・タクシーの試験運行 .....              | 1  |
| 1.1 試験運行の概要 .....                     | 1  |
| (1) 公共交通不便地域におけるデマンド・タクシーの導入検討 .....  | 1  |
| (2) 利用区間・料金など .....                   | 1  |
| 第2章 デマンド・タクシーの利用実績 .....              | 3  |
| 2.1 利用実績(8月～12月)の概要 .....             | 3  |
| (1) 利用人数 .....                        | 3  |
| (2) 曜日別利用人数 .....                     | 3  |
| (3) 便・方向別利用人数 .....                   | 4  |
| (4) 利用行き先・迎え先 .....                   | 4  |
| 第3章 利用者アンケートの実施 .....                 | 5  |
| 3.1 利用者アンケート調査 .....                  | 5  |
| (1) 調査概要 .....                        | 5  |
| (2) 調査結果の概要 .....                     | 5  |
| 3.2 桜ヶ丘・清水ヶ丘地区アンケート調査 .....           | 6  |
| (1) 調査概要 .....                        | 6  |
| (2) 調査結果の概要 .....                     | 7  |
| 第4章 デマンド・タクシー本運行の検討 .....             | 12 |
| 4.1 本運行の検討方針 .....                    | 13 |
| 4.2 運行継続(本運行)の必要性 .....               | 14 |
| (1) 試験運行の評価 .....                     | 14 |
| (2) 運行継続(本運行)の必要性和つばきバスルート短縮の可否 ..... | 15 |
| 4.3 運行の効率化(運行経費の削減) .....             | 17 |
| (1) 試験運行の評価 .....                     | 17 |
| (2) 運行内容の検討 .....                     | 17 |
| 4.4 財源の確保(運行収支の改善等) .....             | 19 |
| (1) 補助金の活用 .....                      | 19 |
| (2) 運賃の検討 .....                       | 19 |
| 4.5 検討結果を踏まえた運行計画(案) .....            | 21 |

## 第1章 デマンド・タクシーの試験運行

### 1.1 試験運行の概要

#### (1) 公共交通不便地域におけるデマンド・タクシーの導入検討

令和元年11月に策定した「府中町地域公共交通網形成計画」において、下図のとおり、公共交通不便地域等を設定しています。この公共交通不便地域の解消に向け、公共交通手段の確保策を検討するため、桜ヶ丘・清水ヶ丘地区を対象として令和3年8月2日からデマンド・タクシーの試験運行を行っています。

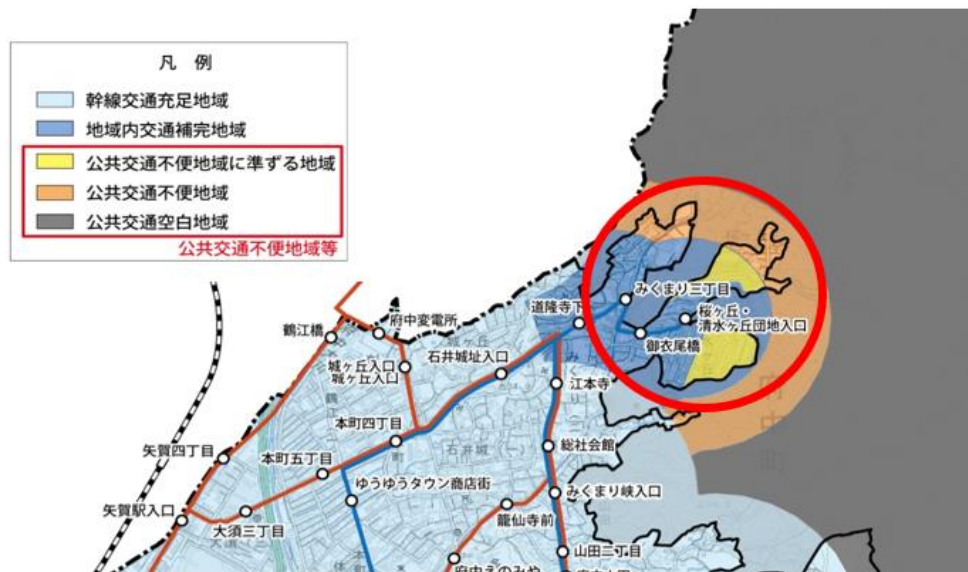


図 公共交通不便地域等

#### (2) 利用区間・料金など

##### 【利用区間】

清水ヶ丘・桜ヶ丘団地  
(自宅から乗り降り可)



##### 共通乗降所

- ①みくまり3丁目バス停
- ②本町4丁目バス停(こいこい市場前)
- ③大須3丁目バス停(サンリブ府中前)
- ④府中町役場前
- ⑤天神川駅前
- ⑥イオンモール府中前



図 デマンド・タクシー試験運行時利用区間

【料金・サービス】

通常料金：150 円

割引料金：100 円 ※割引は小学生以下の児童と障がい者に適用

支払方法：現金のみ

サービス内容：9 人乗り車両で 1 日 6 往復運行

【利用方法】

広島第一交通㈱配車センター TEL 082-278-5511 へ予約が必要  
予約時には氏名・住所・連絡先・利用便・乗降場所・利用人数を確認

受付時間：7:00 ～ 18:00（毎日）

受付締切：発車の 1 時間前まで（予約の変更・キャンセルも同様）

【運行ダイヤ】毎日運行（平日 7 便・休日 6 便）

※予約のない便は運行なし

## 第2章 デマンド・タクシーの利用実績

### 2.1 利用実績(8月～12月)の概要

※12月は速報集計値

#### (1) 利用人数

利用人数合算(8月～12月) 1,144人

表 月別利用人数など

|          | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  |
|----------|------|------|------|------|------|
| 延べ利用者数   | 174人 | 196人 | 225人 | 266人 | 283人 |
| 登録件数(累計) | 23人  | 35人  | 46人  | 53人  | 57人  |

- ・利用人数・登録件数ともに増加傾向にあります。

#### (2) 曜日別利用人数

- ・平日の利用が多くなっており、日・祝日の利用は少なくなっています。

※祝日は9/20 敬老の日、9/23 秋分の日、11/3 文化の日、11/23 勤労感謝の日

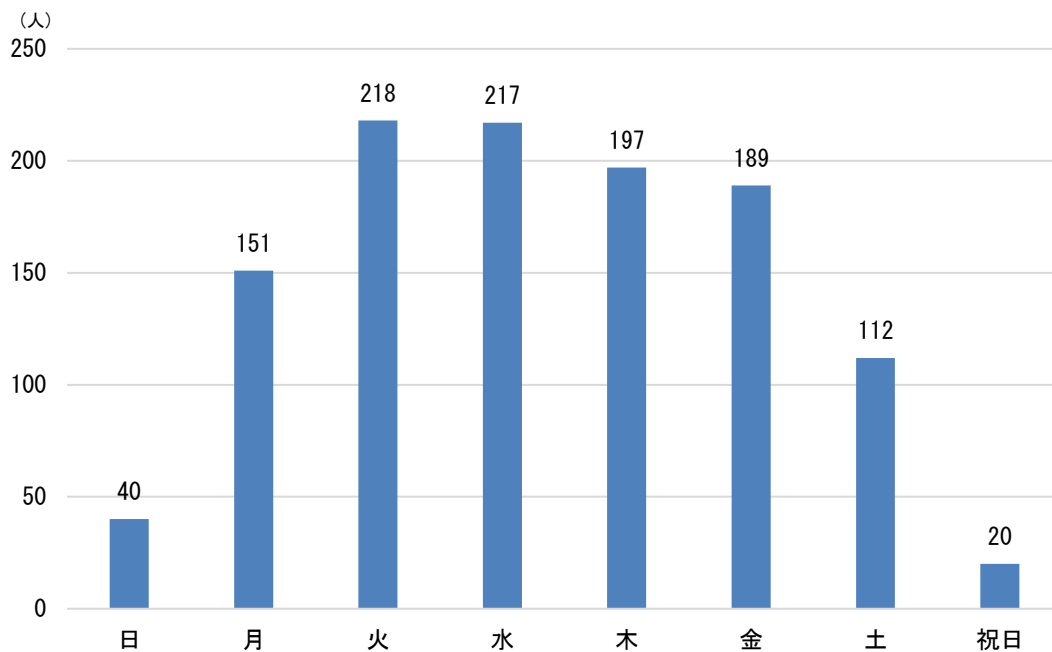


図 曜日別利用人数(8月-12月合算)

### (3) 便・方向別利用人数

- ・「行き-2便」の利用が最も多くなっています。帰りでは5便、6便の利用が比較的多くなっています。
- ・「行き-6便」及び「帰り-2便」については利用が少なくなっています。

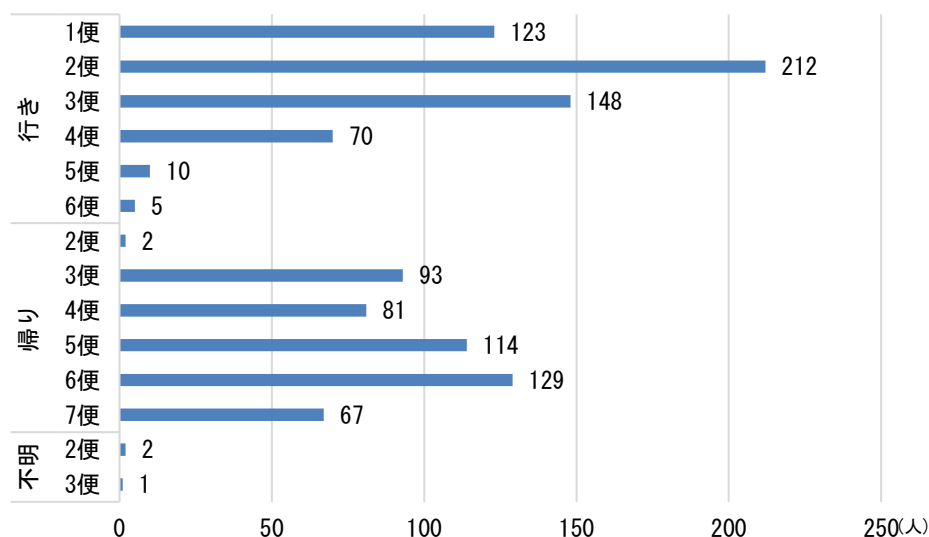


図 便・方向別利用人数(8月-12月合算)

※12月は速報集計値のため、利用便が確認できた12/23までの利用者数を集計しています。  
そのため合計がP3と一致していません。

### (4) 利用行き先・迎え先

- ・利用行き先では「本町四丁目」及び「イオンモール」への利用が多くなっており、特に清水ヶ丘地区の方の利用が多くなっています。
- ・利用迎え先についても「本町四丁目」及び「イオンモール」からの利用が多くなっています。
- ・行き先、迎え先ともに「みくまり三丁目」の利用はありませんでした。

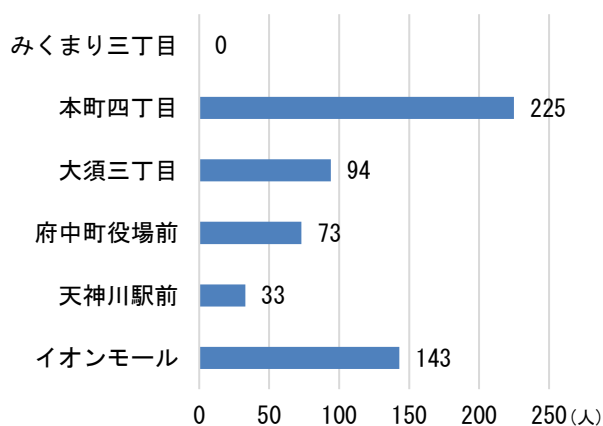


図 利用行き先別利用者数

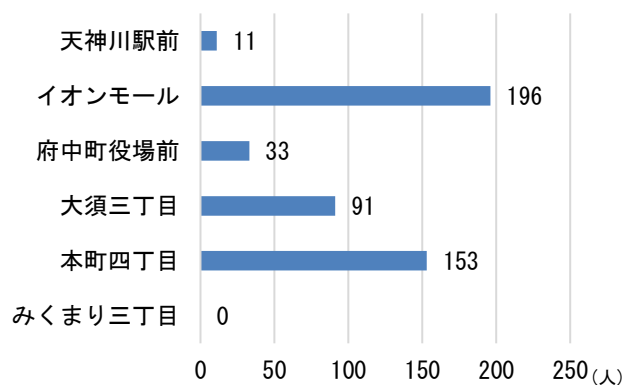


図 利用迎え先別利用者数

## 第3章 利用者アンケートの実施

### 3.1 利用者アンケート調査

#### (1) 調査概要

調査の概要は以下のとおりです。

表 デマンド・タクシー利用者アンケート調査概要

| 項 目    | 内 容                                          |     |     |
|--------|----------------------------------------------|-----|-----|
| 調査対象   | 調査実施期間中のデマンド・タクシー利用者                         |     |     |
| 調査方法   | デマンドタクシードライバーから手渡し配布、回収は郵送回収                 |     |     |
| 調査実施時期 | 配 布 ：令和3年9月9日（木）～30日（木）<br>回収期限：令和3年10月8日（金） |     |     |
| 調査票回収数 | 配布数                                          | 回収数 | 回収率 |
|        |                                              | 13  | %   |

#### (2) 調査結果の概要

調査結果については前回報告のとおりです。ここでは、主要な結果のみ示します。

##### ●デマンド・タクシーの利用頻度

- 回答者の半数が「週に1～2日」の利用をされています。

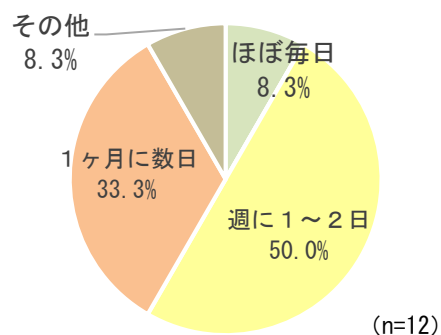


図 デマンド・タクシーの利用頻度

##### ●デマンド・タクシーの評価

- 回答者の92.3%が「つばきバスよりも便利」と回答されています。

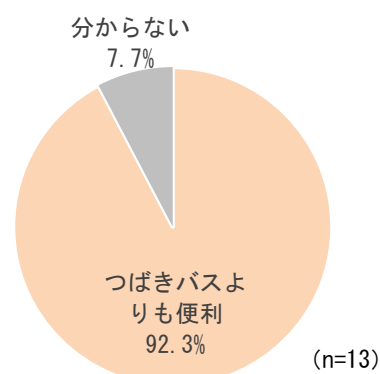


図 デマンド・タクシーの評価

### 3.2 桜ヶ丘・清水ヶ丘地区アンケート調査

#### (1) 調査概要

桜ヶ丘・清水ヶ丘町内会からの要望があり、住民アンケートを追加実施しました。  
調査の概要は以下のとおりです。

表 桜ヶ丘・清水ヶ丘地区アンケート調査概要

| 項 目    | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                           |     |       |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 調査対象   | 桜ヶ丘・清水ヶ丘両町内会エリアの全世帯<br>桜ヶ丘地区 227 世帯<br>清水ヶ丘地区 335 世帯                                                                                                                                                                                                                          |     |       |
| 調査方法   | 町内会協力のもと手渡し配布、回収は町内会班長への提出により回収                                                                                                                                                                                                                                               |     |       |
| 調査実施時期 | 配 布 : 令和3年 12 月 7 日 (火) に両町内会長へ配布依頼<br>回収期限: 令和3年 12 月 22 日 (水)                                                                                                                                                                                                               |     |       |
| 調査票回収数 |                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |       |
|        | 配布数                                                                                                                                                                                                                                                                           | 回収数 | 回収率   |
|        | 562                                                                                                                                                                                                                                                                           | 279 | 49.6% |
| 調査項目   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・回答者の属性（年齢・職業・世帯構成・免許の保有状況等）</li> <li>・つばきバス・デマンドタクシーの利用状況</li> <li>・デマンド・タクシーの必要性について</li> <li>・デマンド・タクシーの運賃（値上げ）について</li> <li>・デマンド・タクシーの運行車両（小型化）について</li> <li>・デマンド・タクシーの運行日（削減）について</li> <li>・デマンド・タクシーの運行ルート・乗降場所について</li> </ul> |     |       |

## (2) 調査結果の概要

調査結果の概要については以下のとおりです。

### ●回答者の年齢

- ・「70代」、「80歳以上」の回答が全体の半数以上を占めています。
- ・桜ヶ丘・清水ヶ丘地区の年齢構成よりも高齢者の比率が高く、本アンケートの内容について、高齢者の関心が高いことが伺えます。

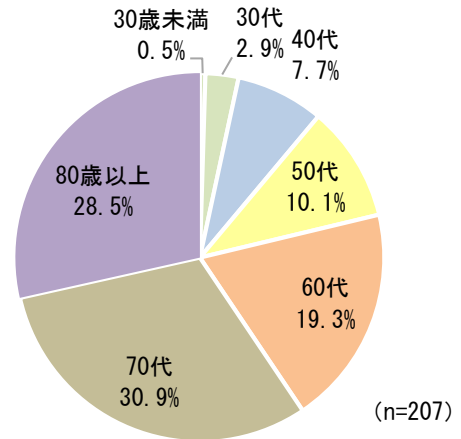


図 回答者の年齢

### ●運転免許証保有状況

- ・運転免許証の保有率は令和元年に実施した住民アンケートの内容とほぼ同様であり、地域性は特にみられません。
- ・一方、年齢構成比は住民アンケートに比べ70歳以上の割合が高く、高齢者が免許を保有している状況であることが伺えます。

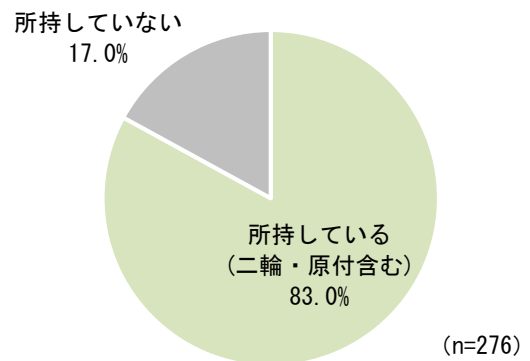


図 運転免許証保有状況

### ●利用可能な交通手段

- ・運転免許証保有状況に近似した比率で「自ら運転可能」となっており、運転免許保有者の大半は自家用車・バイク・原付等を所有していることが伺えます。
- ・また、公共交通・徒歩以外の手段がない人は14%程度となっています。

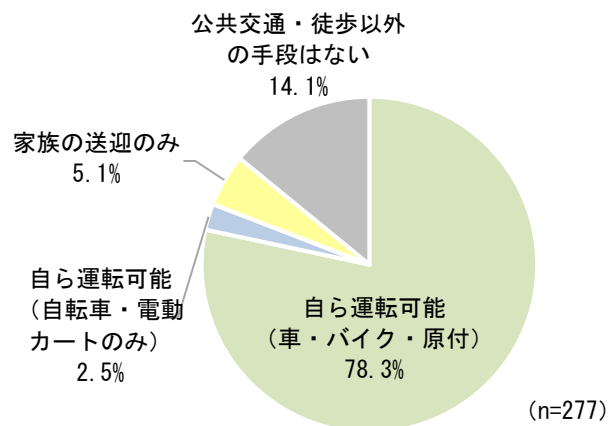


図 利用可能な交通手段

## ●つばきバスの利用頻度

- ・約 25%の人がつばきバスを定期的に使用していると回答しています。
- ・令和元年の住民アンケートにおける府中町全体のつばきバスを定期的に使用している人の割合は 12%であり、つばきバスへの依存度の高さが伺えます。

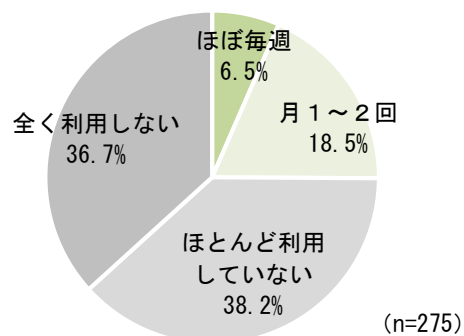


図 つばきバスの利用頻度

## ●デマンド・タクシーの利用状況

- ・現在利用されている方は「定期的に利用」が 3.8%、「数回利用」が 11.7%でしたが、「今後利用予定」の回答が 48.9%と回答者の半数を占めています。
- ・年代別にみると、年齢が高くなるにつれ、「今後利用予定」の回答割合が増加しています。

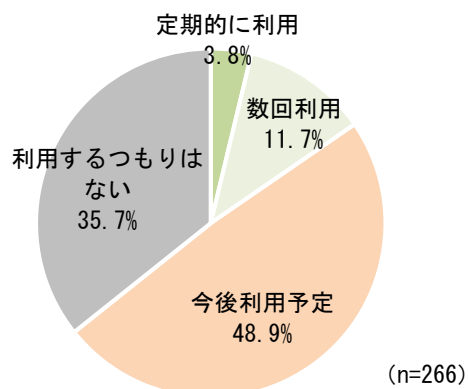


図 デマンド・タクシーの利用状況

(年代別クロス集計)

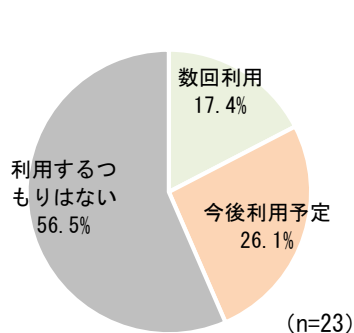


図 年代別クロス  
40代以下

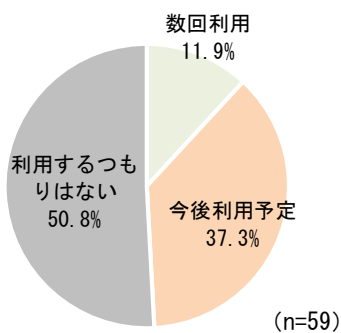


図 年代別クロス  
50代・60代

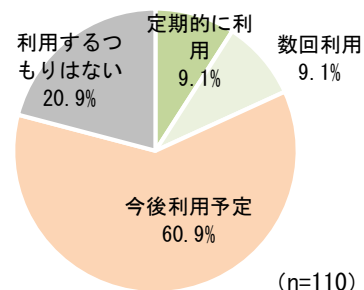


図 年代別クロス  
70代以上

## ●デマンド・タクシーを利用しない理由

- ・「自家用車・バイクなどで移動しているから」が79.3%と突出して多くなっています。
- ・また、「事前予約が必要だから」も多くなっています。

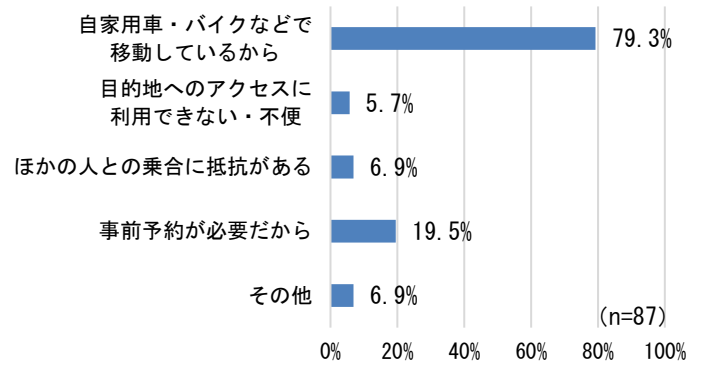


図 デマンド・タクシーを利用しない理由  
(複数回答可)

## ●デマンド・タクシーのような公共交通の必要性

- ・「必要だと思う」という回答が全体の約90%であり、デマンド・タクシー利用の有無に関わらず必要性を感じていることが伺えます。
- ・また、「必要ないと思う」と回答した人についても、理由欄(自由回答)において、「高齢になった場合は必要になる」等、今後の必要性を感じている人が一定数みられました。

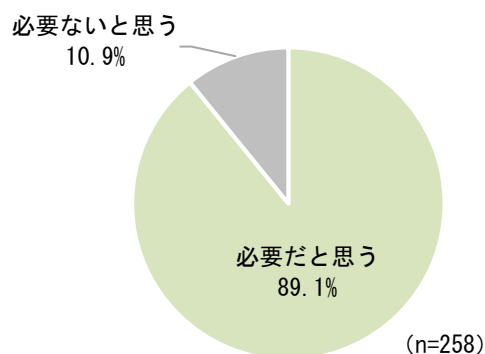


図 デマンド・タクシーのような公共交通の必要性

## ●デマンド・タクシーの運賃が300円程度になった場合どのように感じるか (※試験運行時150円)

- ・デマンド・タクシーの運賃が300円程度となった場合については、「適正」、「高いが仕方ない」の回答を合わせると全体の約8割を占めています。
- ・一方、「高いが仕方ない」と「値下げしてほしい」を合わせると、全体の半数を超えています。
- ・値下げ後の運賃(自由回答)については、「200円」の回答が最も多くなっています。
- ・利用したことのある方ではアンケート全体での結果に比べ、「値下げしてほしい」の回答割合が高くなっています。

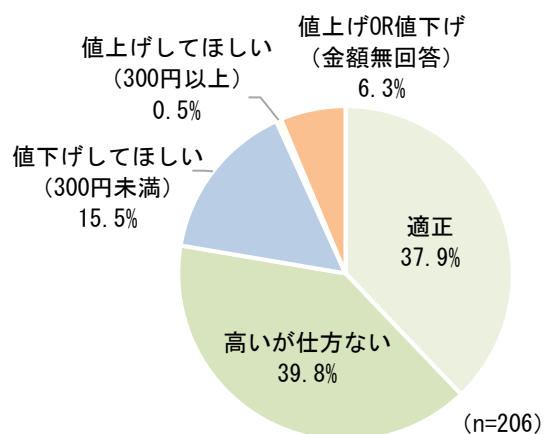


図 デマンド・タクシーの運賃が300円程度になった場合について

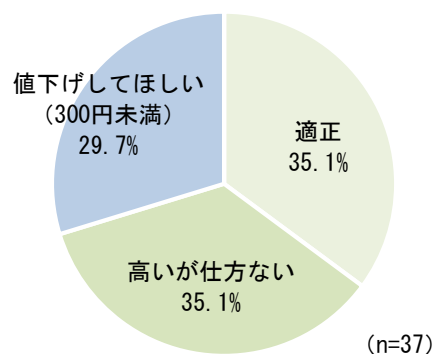


図 デマンド・タクシーの運賃が300円程度になった場合について (利用したことのある方)

●運行経費削減のため、運行車両を4人乗りタクシー車両に変更した場合どのように感じるか  
(試験運行時：9人乗り)

- 運行車両について、試験運行時（9人乗り）から4人乗りへ変更した場合については、「特に問題ない」、「抵抗はあるが仕方ない」の回答が全体の9割以上を占めています。

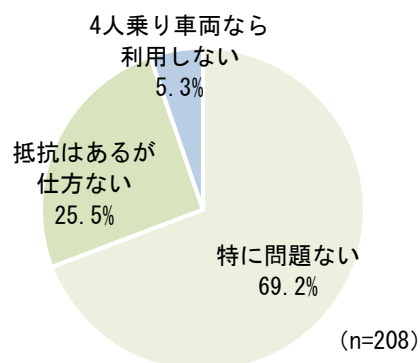


図 デマンド・タクシーが4人乗りタクシー車両に変更した場合について

- 利用したことのある方の回答では、全体での結果に比べ「特に問題ない」の割合がさらに高くなっており、車両サイズの変更については、利用者数への影響もあまり多くないものとみられます。

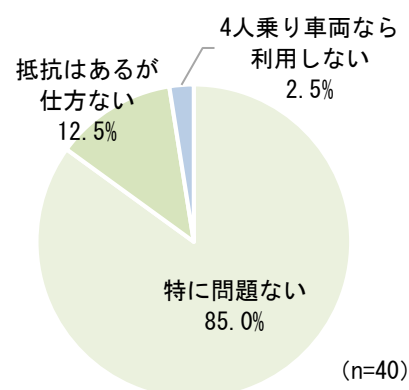


図 デマンド・タクシーが4人乗りタクシー車両に変更した場合について（利用したことのある方）

●運行日を減らす場合、どこまでなら問題なく利用できると感じるか  
(試験運行時：毎日運行)

- 運行日については、「土・日・祝運休」で問題なく利用できる人が全体の半数以上ですが、選択肢ごとの回答数では「日・祝日運休（平日と土曜日運行）」が最も多く、全体の45%となっています。

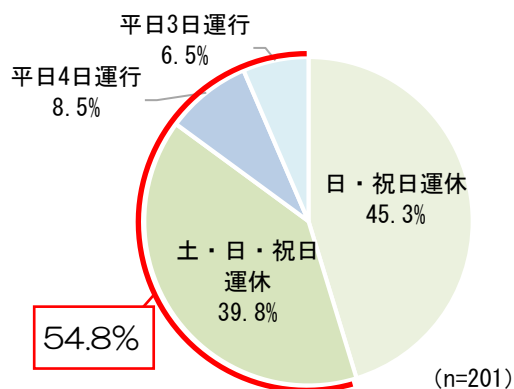


図 運行日を減らす場合、問題なく利用できるサービス水準について

## ●現在のデマンド・タクシーのルート変更の必要性について

- ・「今のルート・バス停でいい」が8割以上を占めており、ルートやバス停の変更を求める回答は少数にとどまっています。
- ・利用したことのある方の回答についても、同様の傾向がみられました。

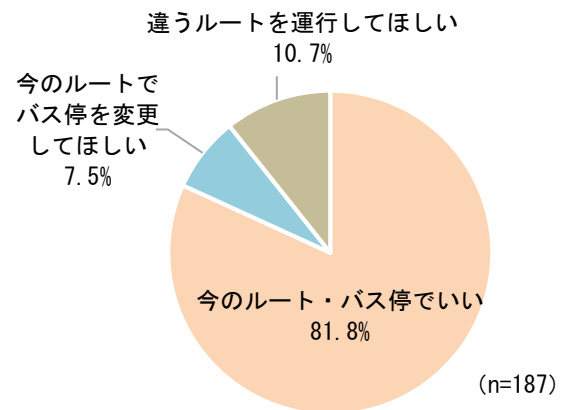


図 現在のデマンド・タクシーのルート変更の必要性について

## ●現在のデマンド・タクシーのルート変更の必要性について 経由してほしいバス停

- ・経由してほしいバス停のうち、現在停車していないバス停の回答は下表のとおりでした。

表 経由してほしいバス停

| 経由してほしいバス停 回答 | 回答数 | 現在のルート上 |
|---------------|-----|---------|
| ゆうゆうタウン商店街    | 9   |         |
| 府中埃宮          | 9   |         |
| 桜ヶ丘・清水ヶ丘団地入口  | 6   | ○       |
| 本町五丁目         | 6   | ○       |
| 天神川駅北         | 5   | ○       |
| 府中町役場東口       | 5   |         |
| 龍仙寺前          | 4   |         |
| 浜田一丁目         | 4   |         |
| 府中郵便局前        | 4   |         |
| 府中大橋          | 3   | ○       |
| 文化橋           | 3   |         |
| みくまり峡入口       | 3   |         |
| 総社会館          | 3   |         |
| 浜田二丁目         | 2   |         |
| 府中交番          | 1   |         |
| 府中中学校東門       | 1   |         |

※現在の乗降所回答は除く

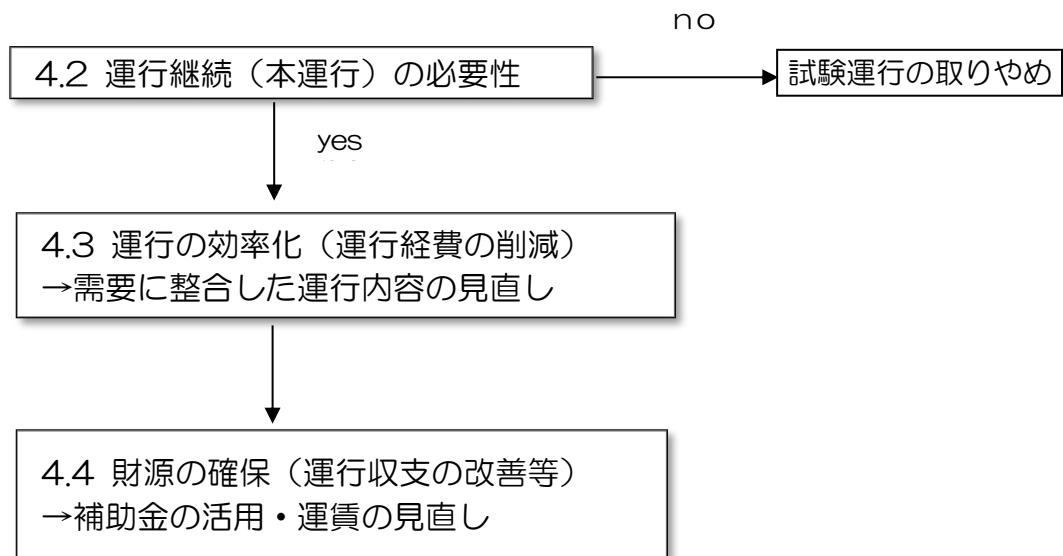
## 第4章 デマンド・タクシー本運行の検討

### 4.1 本運行の検討方針

デマンド・タクシーの本格運行に向けた検討は、

- a 利用実態（8月～10月）
- b 利用者アンケート（9月9日～30日のデマンド・タクシー利用者）
- c 住民アンケート（桜ヶ丘・清水ヶ丘地区）

の調査結果に基づき、以下の手順によって行います。



## 4.2 運行継続（本運行）の必要性

### （１）試験運行の評価

デマンド・タクシーの運行継続の必要性に関する、「①利用実績」「②利用者アンケート」「③住民アンケート」の結果は以下のとおりです。

#### ①利用実績

##### a 延べ利用者数

- ・ 8月から12月の5か月間で1,144人が利用しています。
- ・ 利用者は月～土曜日に偏っており、利用の少ない日祝日を除くと、平均で1日あたり9.2人が乗車しています。

##### b 利用者の分布

- ・ 利用者は桜ヶ丘・清水ヶ丘地区のうち「桜ヶ丘」「清水ヶ丘」町内会の区域のみで、御衣尾町内会の区域からは利用がありません。

#### ②利用者アンケート

##### a 利便性

- ・ 全体のサンプル数（回答者数）が少ないものの、回答者のほぼ全員が「つばきバスよりも便利」と回答しており、利用者の満足度は高くなっています。

##### b 利用頻度

- ・ 回答者の9割以上が月に数日利用しており、生活交通として機能していることがわかります。

#### ③住民アンケート（桜ヶ丘・清水ヶ丘町内会）

##### a デマンド・タクシーの利用意向

- ・ 全体の半数が「今後利用予定」と回答しており、高齢化に伴う免許返納者の増加などを機に利用者の増加が見込めます。

##### b デマンド・タクシーの必要性

- ・ 全体の約9割が自分の住んでいるエリアで「デマンド・タクシーが必要である」と回答しています。

## (2) 運行継続（本運行）の必要性とつばきバスルート短縮の可否

前項の試験運行の評価に基づき、運行継続の必要性を検討します。

また、「デマンド・タクシーの導入」と併せて検討することとしていた「つばきバスのルート短縮運行」（みくまり三丁目バス停での折り返し運行）についても検討を行います。

### ①桜ヶ丘・清水ヶ丘地区のうち、「御衣尾町内会」の区域における運行継続の必要性

- ・全域が地域内交通補完地域（つばきバスを便利に利用できるエリア）であり、事前アンケートにおいて、デマンド・タクシーへの評価が低く、区域内のつばきバス運行存続を強く希望する意見が出ていました。
- ・試験運行での利用実績について、当該区域でのデマンド・タクシー利用が全く無かったことから、つばきバスからの利用転換は見込めません。

以上から、桜ヶ丘・清水ヶ丘地区のうち御衣尾町内会区域においてはデマンド・タクシー運行継続の必要性がないと判断します。

### ②「桜ヶ丘・清水ヶ丘町内会」の区域における運行継続の必要性

- ・8月から12月の5ヶ月間について、つばきバスとデマンド・タクシーの延べ利用者数を比較すると、次の表のとおりとなります。デマンド・タクシーの対象人口1人あたりの輸送人数は「0.70人」となっており、つばきバスの「0.95人」を下回っています。
- ・しかしながら、運行エリアのうち御衣尾町内会の区域では利用がなかったことから、利用があった「桜ヶ丘・清水ヶ丘町内会」の区域に限定して対象人口1人あたりの輸送人数を算出すると、「0.95人」であり、つばきバスと同程度の移動需要を担っているものと判断できます。

表 つばきバスとデマンド・タクシーの延べ利用者数

|                  | A 対象人口<br>(R3.12 時点) | B 延べ利用者数<br>(8～12 月) | 人口1人当たり<br>利用者数<br>(B/A) |
|------------------|----------------------|----------------------|--------------------------|
| つばきバス<br>(町全体)   | 52,912 人             | 50,516 人             | 0.95 人                   |
| 清水ヶ丘・<br>桜ヶ丘地区全域 | 1,641 人              | 1,144 人              | 0.70 人                   |
| 清水ヶ丘・<br>桜ヶ丘町内会  | 1,206 人              |                      | 0.95 人                   |

以上から、「桜ヶ丘・清水ヶ丘町内会」の区域においては、デマンド・タクシーが交通手段の確保策として有効であると判断されます。

また、公共交通不便地域等の大半は、「桜ヶ丘・清水ヶ丘町内会」の区域内に位置しており、当該区域でデマンド・タクシーを本運行とすることが、公共交通不便地域等の解消に向けた有効な取り組みであると考えられます。

### ③清水ヶ丘・桜ヶ丘地区におけるつばきバス運行継続の必要性

- ・PASPY 利用者数から算出したつばきバス利用者数では、全体での減少幅に比べ、当該地区の減少幅は大きくなっている（全体-35%、清水ヶ丘・桜ヶ丘-39%）ことから、つばきバス利用者の一部がデマンド・タクシーの利用に切り替えた可能性があります。
- ・「御衣尾橋」「桜ヶ丘・清水ヶ丘団地入口」バス停の利用者に対して、前述の人口1人当たり輸送人数を算出すると、「1.98」人となりつばきバスの全体平均を大きく上回っています。

以上から、デマンド・タクシー試験運行の開始に伴い、清水ヶ丘・桜ヶ丘地区において一部の利用者がデマンド・タクシーへ移行したものとと思われますが、試験運行開始後において、つばきバスの利用ニーズが他の地区に比べ高いことから、現状のつばきバスによる運行も継続して実施すべきものと考えます。

これを踏まえ、次のとおり公共交通の再編を実施することとします。

|           |                                |
|-----------|--------------------------------|
| デマンド・タクシー | ： 桜ヶ丘・清水ヶ丘町内会の区域内に限定して本運行を実施する |
| つばきバス     | ： 現行どおり桜ヶ丘・清水ヶ丘団地入口まで運行を行う     |

#### 4.3 運行の効率化（運行経費の削減）

デマンド・タクシーを本運行するにあたり、試験運行に係る利用実態を踏まえ、運行の効率化を図ります。

##### （１）試験運行の評価

###### a 運行日

「日曜日」「祝日」の利用者が他の曜日に比べて顕著に少なくなっています。

###### b 便数の見直し

デマンド・タクシーは「帰り・行き」をセットで往復運行しており、往復での利用者を見ると各便一定以上の利用があります。

###### c 運行車両の見直し

試験運行前の需要予測では、ジャンボタクシー（最大乗客数 9 名）であっても、朝の便は増発を想定していましたが、これまで増発便は殆ど発生しておらず、1 台当たりの乗車数は「2 名程度」となっています。

###### d 乗降場所

8 月から 12 月までの期間において、「みくまり三丁目」バス停の利用がありませんでした。

##### （２）運行内容の検討

###### a 運行日

住民アンケート結果では「日・祝日運休」は概ね受け入れられるようですが、「土・日・祝日運休」となると半数近くの方が外出に支障があると考えられます。利用実態から判断しても「日・祝日運休」が、運行の効率化と利便性のバランスにおいて最も優れています。

###### b 便数

試験運行における便数の設定に当たってはつばきバスの便数・時刻と整合を図っており、利用実態からも、全体便数の削減は現時点では不要であると考えられます。

###### c 運行車両

住民アンケート結果において、4 人乗りタクシー車両での運行に対して約 7 割の人が「特に問題なく利用できる」と回答しています。

利用実態から、1 台当たりの平均乗車数が「2 名程度」であり、運行車両の小型化を行うことで運行の効率化が図れるほか、狭隘な道路まで通行可能となり、サービスの向上が見込まれることから、「4 人乗りタクシー車両」での運行とし、4 名以上の乗客については、増発便で対応することが望ましいと考えられます。

また、ジャンボタクシーの場合、運行事業者の車両を確保しておく必要がありましたが、4 人乗りタクシー車両の場合は、営業所の車両で対応可能なことから、予約のない便の運行経費が発生しなくなります。

d 乗降場所

住民アンケート調査では、80%以上の人が現在のルート・バス停のままでよいと回答しており、抜本的なルート・バス停の変更は不要であると考えられます。

一方、現在利用のない「みくまり三丁目」バス停に代わる共通乗降場所について、下表の住民アンケート調査での上位意見を参考とすると、現在のルート上で該当するのが「桜ヶ丘・清水ヶ丘団地入口」「本町五丁目」「天神川駅北」となります。

| 経由してほしいバス停 回答 | 回答数 | 現在のルート上 |
|---------------|-----|---------|
| ゆうゆうタウン商店街    | 9   |         |
| 府中埜宮          | 9   |         |
| 桜ヶ丘・清水ヶ丘団地入口  | 6   | ○       |
| 本町五丁目         | 6   | ○       |
| 天神川駅北         | 5   | ○       |
| 府中町役場東口       | 5   |         |
| 龍仙寺前          | 4   |         |

- ・「桜ヶ丘・清水ヶ丘団地入口」はバス停周辺に目的地となる施設が特にみられず、つばきバスとの乗り換えを想定した「みくまり三丁目」の利用がないことから、利用が見込めないものと考えられます。
- ・「本町五丁目」については、現在のルート上で「ゆうゆうタウン商店街」周辺の商業施設への最寄りバス停となっており、「ゆうゆうタウン商店街」周辺に移動する利用者の増加も見込めます。
- ・「天神川駅北」は、路線バスとの乗換地点でもあり、一定以上の利用が見込まれますが、交通量が多く渋滞の多いイオンモール前の県道沿いにあり、バスベイ（バス停車用の待避所）を持たないため、予約者がバス停にいない際の確認などによる一時停車が困難であり、共通乗降所に適していません。

以上から、現在のルートのまま、共通乗降所のうち「みくまり三丁目」を「本町五丁目」に変更し、利用者増と運行の効率化を図ることが望ましいと考えられます。

#### 4.4 財源の確保（運行収支の改善等）

##### （１）補助金の活用

デマンド・タクシーは、利用可能エリアや事業規模の特性上、つばきバスよりも効率的に運行することは困難なため、利用者一人あたりの運行経費はつばきバスに比べて高くなります。

これを運賃に反映させると、運賃は試験運行時（150 円）の 2 倍以上となり、大幅に利用者が減少することが想定され、不便地域における公共交通サービスの確保手段として成り立たなくなります。このことから、運賃収入のほかに財源を確保する必要があります。

国では、「生活交通の存続が危機に瀕している地域等において、地域公共交通の確保・維持・改善を支援すること」を目的とした補助事業を実施しており、そのうち、公共交通不便地域における公共交通サービスの実施については、「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」による財政支援を受けることができます。

そのため、デマンド・タクシーの本運行については、「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」の活用を前提として運行計画を作成し、補助金による支援を加味した運賃設定を検討することとします。

##### （２）運賃の検討

###### ①運賃の試算

デマンド・タクシーは予約があった便のみ運行を行うことから、利用者数が増加すれば稼働便数も増え、その分運行経費が発生するという特徴があります。

そのため、運賃収入（利用者数×運賃）と運行経費による単純比較が難しく、つばきバスのように収支率を目標として運行内容を評価することは適当ではありません。

このことから、運賃を設定するにあたっては、1 便当たりの運行費に着目して試算を行うこととしました。

###### a 1 便当たり運行費に係る利用者負担額

- ・ 1 便当たり運行費 : 2,000 円/便 ※事業者ヒアリング
- ・ 最大利用可能者数 : 6 人（往路 3 名、復路 3 名）

$$2,000 \text{ 円} \div 6 \text{ 人} \times 75\% = 250 \text{ 円/人} \quad (\text{受益者負担率 } 75\% \text{ で計算 ※ つばきバスと同様})$$

###### b 予約受付・運行管理に係る利用者負担額

- ・ 年間経費 : 105 万円（配車システム等）※事業者ヒアリング
- ・ 年間利用者数 : 6,000 人（計画人数 20 人/日、297 日運行）

$$105 \text{ 万円} \times 75\% \div 6,000 \text{ 人} = 131 \text{ 円/人}$$

###### c 計画人数が利用し、国庫補助を受ける場合の補助率

- ・ 年間運行経費（8 便/日で試算） : 580 万円
- ・ 国庫補助の補助上限額（想定） : 225 万円

年間運行経費に対する補助金の割合（補助率）を計算

$$225 \text{ 万円} \div 580 \text{ 万円} = 39\%$$

d 補助金を加味した利用者負担額（運賃）の算出

a とbの合計に補助率を反映して運賃を算出

$$250 \text{ 円} + 131 \text{ 円} = 381 \text{ 円}$$

$$381 \text{ 円} \times 61\% = \underline{\underline{230 \text{ 円}}}$$

②試算結果の評価

a 近隣比較

近隣でのデマンド・タクシー実施事例は次のとおりです。いずれも運賃 200 円で運行しています。

|           | 佐伯デマンドバス                    | SMART MOVER<br>(スマートムーバー) |
|-----------|-----------------------------|---------------------------|
| 運行主体      | 廿日市市                        | ひろでんモビリティ<br>サービス株式会社     |
| 運行エリア     | 玖島・友和・所山・<br>浅原・飯山・中道地<br>区 | 五日市湾岸地区                   |
| 運賃        | 200 円                       | 200 円                     |
| 小学生・障害者割引 | 各半額                         | 各半額                       |

※各半額 … 小学生又は障害者：100 円、小学生の障害者：50 円

b 住民アンケート結果

300 円の運賃設定に対して約 8 割の人が理解を示していますが、半数以上の人が高」と感じています。また、現在試験運行を利用している人の回答では値下げしてほしいという回答の比率が高く、値下げ後の運賃で最も多かったのが「200 円」という回答となっています。

③デマンド・タクシー本運行時の運賃の設定

運賃の試算結果は「230 円」となりましたが、近隣比較と住民アンケートの結果によると、運賃は「200 円」が望ましいと考えられます。

運賃の支払いは「停車時に車内で運転手への現金受け渡し」するため、安全運行上もわかりやすい（支払いやすい）運賃であることが望ましいことも考慮し、本運行時の運賃は「200 円」とすることが最適であると考えられます。

#### 4.5 検討結果を踏まえた運行計画（案）

上記の検討結果を踏まえた運行計画（案）は以下のとおりです。

| 項 目      | 運行内容（試験運行）                                                     |            | 運行内容（本運行）                                                                |              |
|----------|----------------------------------------------------------------|------------|--------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 運行方式     | デマンド型乗合タクシー<br>道路運送法第 21 条許可                                   |            | デマンド型乗合タクシー<br>実証運行期間：道路運送法 21 条許可<br>本運行           ： <u>道路運送法 4 条許可</u> |              |
| 運行主体     | 府中町                                                            |            | 広島第一交通株式会社                                                               |              |
| 実施方法     | 広島第一交通株式会社へ業務委託（定額）                                            |            | 負担金（運行便数に応じて町が負担）                                                        |              |
| 運行期間     | 令和 3 年 8 月 2 日～令和 4 年 7 月 3 1 日                                |            | 実証運行：令和 4 年 8 月 1 日～9 月 30 日<br>本運行    ： <u>令和 4 年 10 月 1 日～</u>         |              |
| 運行エリア    | 清水ヶ丘地区及び桜ヶ丘地区                                                  |            | 清水ヶ丘地区： <u>清水ヶ丘町内会区域</u><br>桜ヶ丘地区    ： <u>桜ヶ丘町内会区域</u>                   |              |
| 運行日      | 毎日                                                             |            | <u>日曜日・祝日運休</u>                                                          |              |
| 運行便数・ダイヤ | 平日 7 便・土日祝日 6 便<br>※予約がない便は運行しない。                              |            | 平日 7 便・土曜日 6 便<br>※予約がない便は運行しない。                                         |              |
| 運賃       | 通常運賃 150 円、割引運賃 100 円<br>※割引運賃：小学生以下及び障がい者<br>※運賃は乗務員が直接現金にて受領 |            | <u>通常運賃 200 円</u> 、割引運賃 100 円<br>※割引運賃：小学生以下及び障がい者<br>※運賃は乗務員が直接現金にて受領   |              |
| 使用車両     | 事業用自動車（車両定員 10 人）<br>※定員を超える場合、増発便で対応                          |            | 事業用自動車（ <u>車両定員 5 人</u> ）<br>※各便につき利用者が 3 名を超える場合、<br>増発便で対応。            |              |
| 乗降場所     | 運行エリア内                                                         | 自宅付近       | 運行エリア内                                                                   | 自宅付近         |
|          | 共通乗降場所                                                         | みくまり三丁目    | 共通乗降場所                                                                   | 本町四丁目        |
|          |                                                                | 本町四丁目      |                                                                          | <u>本町五丁目</u> |
|          |                                                                | 大須三丁目      |                                                                          | 大須三丁目        |
|          |                                                                | 府中町役場前     |                                                                          | 府中町役場前       |
|          |                                                                | 天神川駅前      |                                                                          | 天神川駅前        |
|          |                                                                | イオンモール広島府中 |                                                                          | イオンモール広島府中   |
|          | ※共通乗降場所間の移動は不可                                                 |            | ※共通乗降場所間の移動は不可                                                           |              |
| 予約方法     | 配車センターで電話・FAX 予約                                               |            | デマンド管理システムによる対応<br>（電話・アプリによる予約を想定）<br>※運行事業者との協議により決定                   |              |
| 予約受付     | 毎日 7:00～18:00                                                  |            |                                                                          |              |
| 予約締切     | 5 日前から発車する 1 時間前まで                                             |            |                                                                          |              |
| 運行費用     | 823 万円/年                                                       |            | 410 万円～580 万円/年※<br>（運行便数により変動）                                          |              |

※運行費用は事業者ヒアリングによる見込みであり、今後の事業者協議により決定する